

令和2年度 区政モニターアンケート報告書

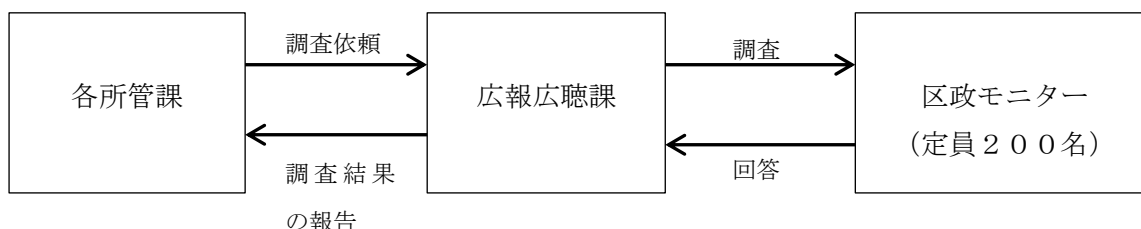
(概要版)

令和3年5月

世田谷区

1 区政モニターアンケートについて

区政モニターアンケートは、各所管課からの依頼に基づき、広報広聴課において区政モニター（定員200人・公募・任期2年）に対して、概ね年4回、アンケート調査を実施するものである。調査結果は各所管課において事業の計画立案や業務改善等に活用している。



2 令和2年度実施状況

令和2年度は、4回にわたり9つのテーマについて調査を実施した。

	調査項目	調査期間
第1回	UD フォントについて	5月29日～6月12日
	世田谷区の文化・芸術振興施策について	
第2回	消費生活（エシカル消費）について	7月15日～7月29日
	新型コロナウイルス感染症に関する区からの情報提供について	
	第四次住宅整備方針の策定について	
第3回	日常の買い物（食料品）について	9月24日～10月8日
	建築物の耐震化について	
第4回	世田谷区の豪雨対策について	11月20日～12月4日
	ふるさと納税について	

◆第1回(1)「UD フォントについて」

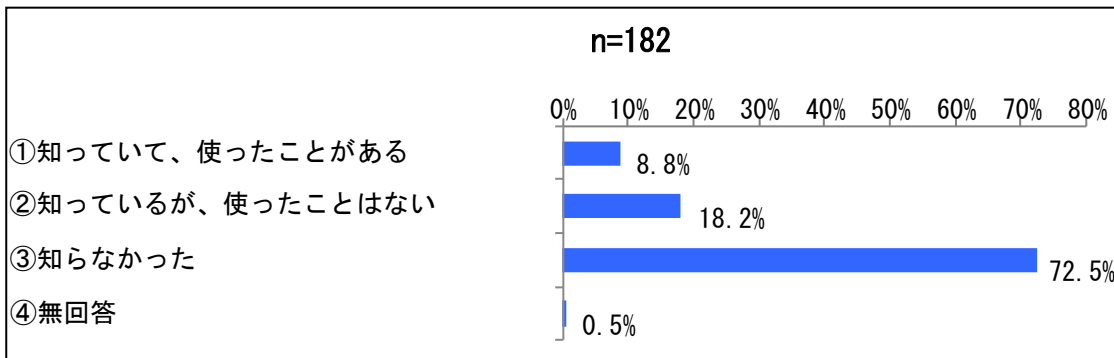
(都市整備政策部 都市デザイン課)

UD フォントの効果や区民の意見を今後の事業の参考とするために調査を実施した。

UD フォントの認知度については、「知らなかった」が7割を超えた。

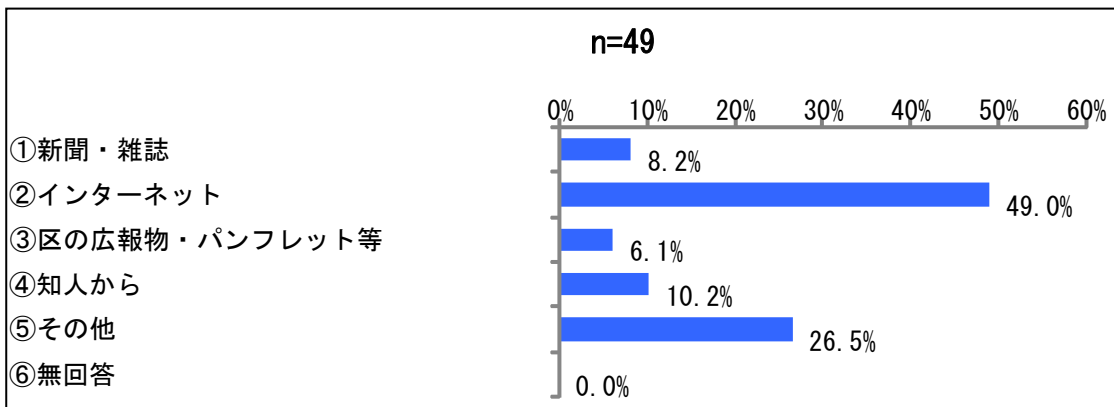
また実際に異なるフォントを使用した区の文書や刊行物の例を見て、読みやすいと思ったものを選択してもらったところ、いずれもUD フォントを使用した文書、刊行物が読みやすいと回答した方が、多数を占める結果となった。

【UD フォントの認知度】



【UD フォントを何で知ったか】

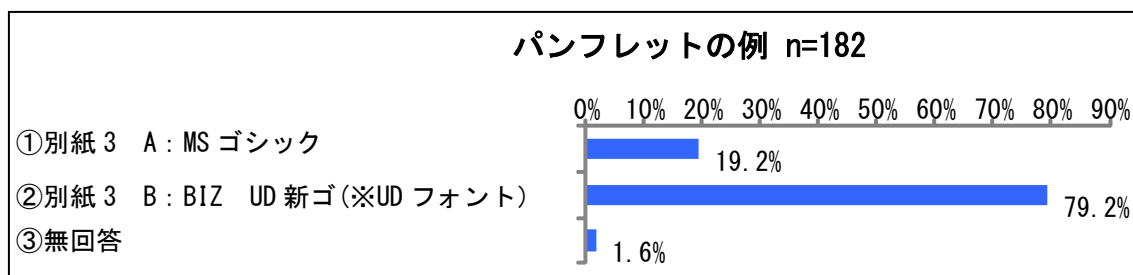
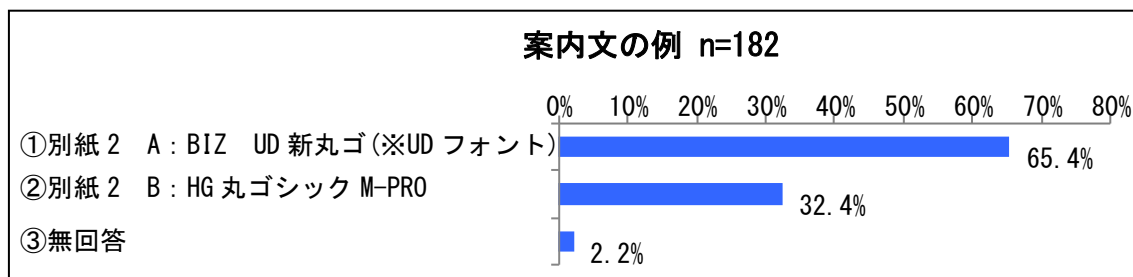
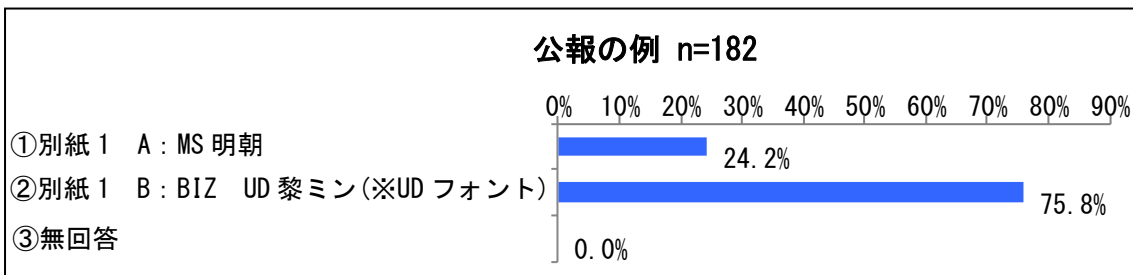
※UD フォントを知っている、知っているが、使ったことはないと回答した方への質問



【異なるフォントを使用した区の文書や刊行物の例を見て、どちらが読みやすいと思うか】

※1から3のフォント名

- 1 公報の例 【A : MS 明朝】・【B : BIZ UD 黎ミン(※UD フォント)】
- 2 案内文の例 【A : BIZ UD 新丸ゴ(※UD フォント)】・【B : HG 丸ゴシック M-PRO】
- 3 パンフレットの例 【A : MS ゴシック】・【B : BIZ UD 新ゴ(※UD フォント)】



◆第1回(2)「世田谷区の文化・芸術振興施策について」

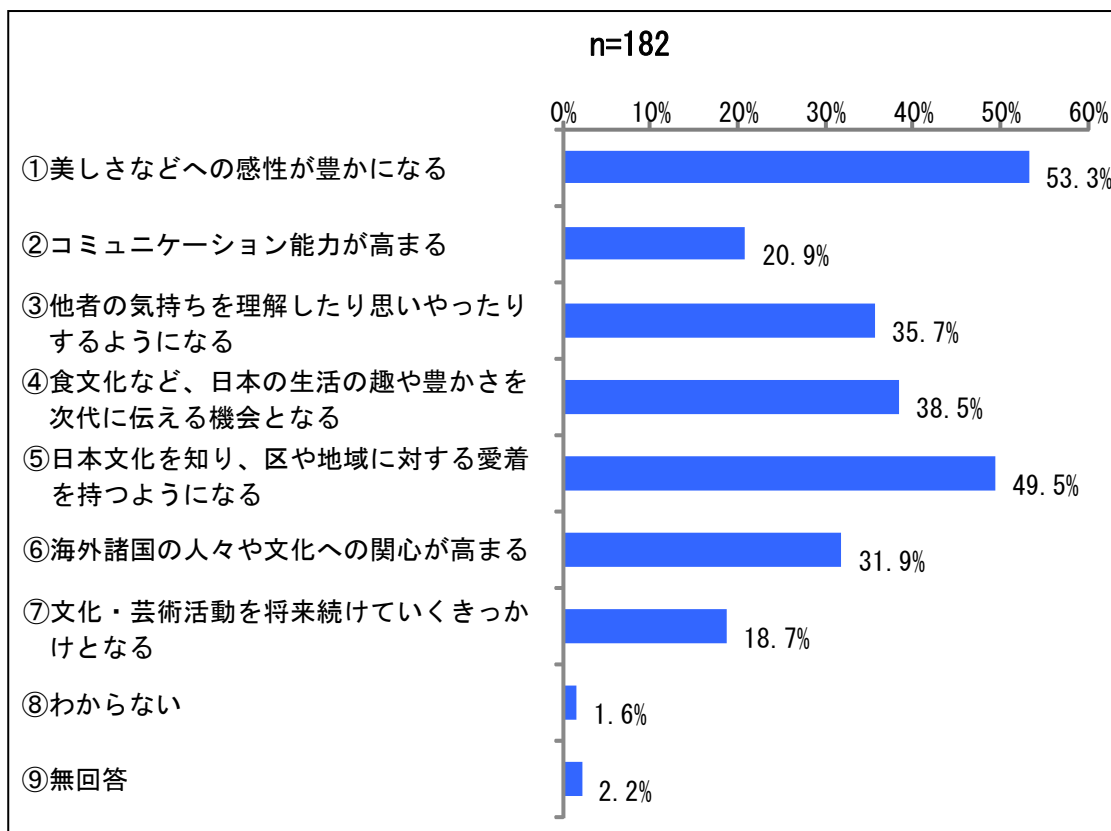
(生活文化政策部 文化・芸術振興課)

「世田谷区文化・芸術振興計画」について次期計画の策定の検討資料とするために調査を実施した。

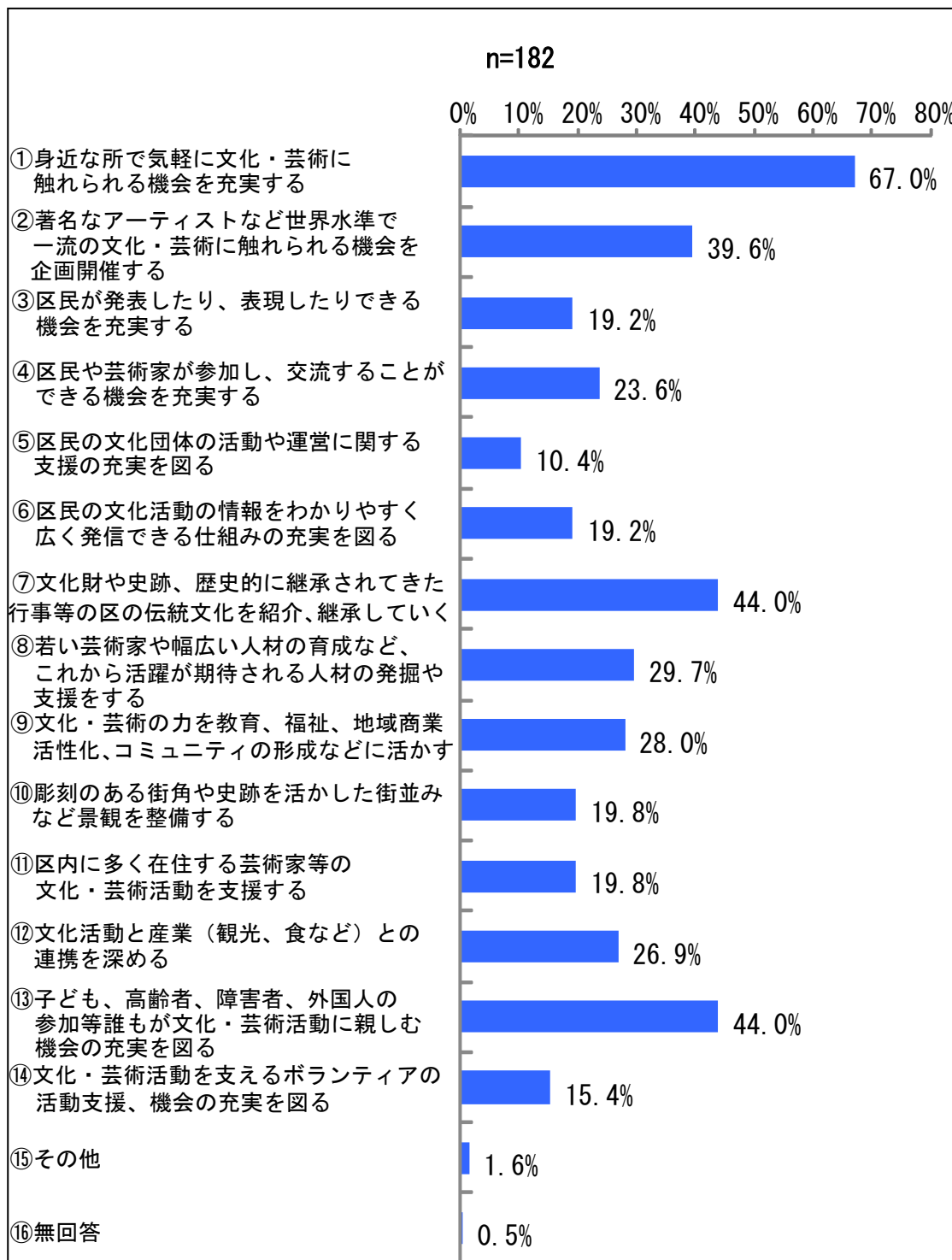
身近な生活や暮らしにおける文化の印象については、「美しさなどへの感性が豊かになる」が5割を超え、「日本文化を知り、区や地域に対する愛着を持つようになる」が5割、「食文化など、日本の生活の趣や豊かさを次代に伝える機会となる」が4割近くであった。

また区の文化・芸術施策として重視してほしいことは、「身近な所で気軽に文化・芸術に触れられる機会を充実する」が7割近くで最も高く、次いで「文化財や史跡、歴史的に継承されてきた行事等の区の伝統文化を紹介、継承していく」及び「子ども、高齢者、障害者、外国人の参加等誰もが文化・芸術活動に親しむ機会の充実を図る」が4割半ばとなっている。

【身近な生活や暮らしにおける「文化」について、どのような印象をもっているか(複数回答)】



【区の文化・芸術施策として、どのようなことを重視してほしいか(複数回答)】



◆第2回(1)「消費生活(エシカル消費)について」

(経済産業部 消費生活課)

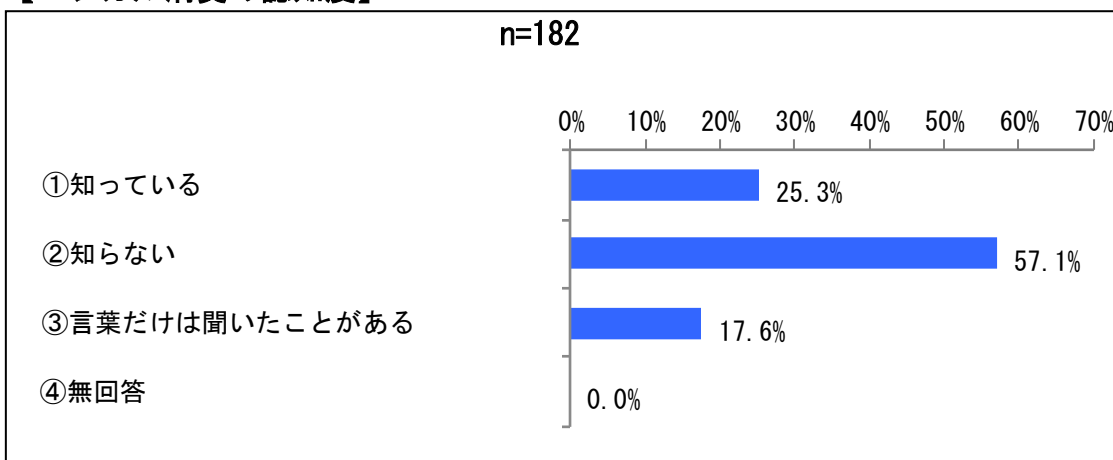
エシカル消費の普及啓発について事業を進めていくために調査を実施した。

エシカル消費の認知度については、6割近くが知らなかった。

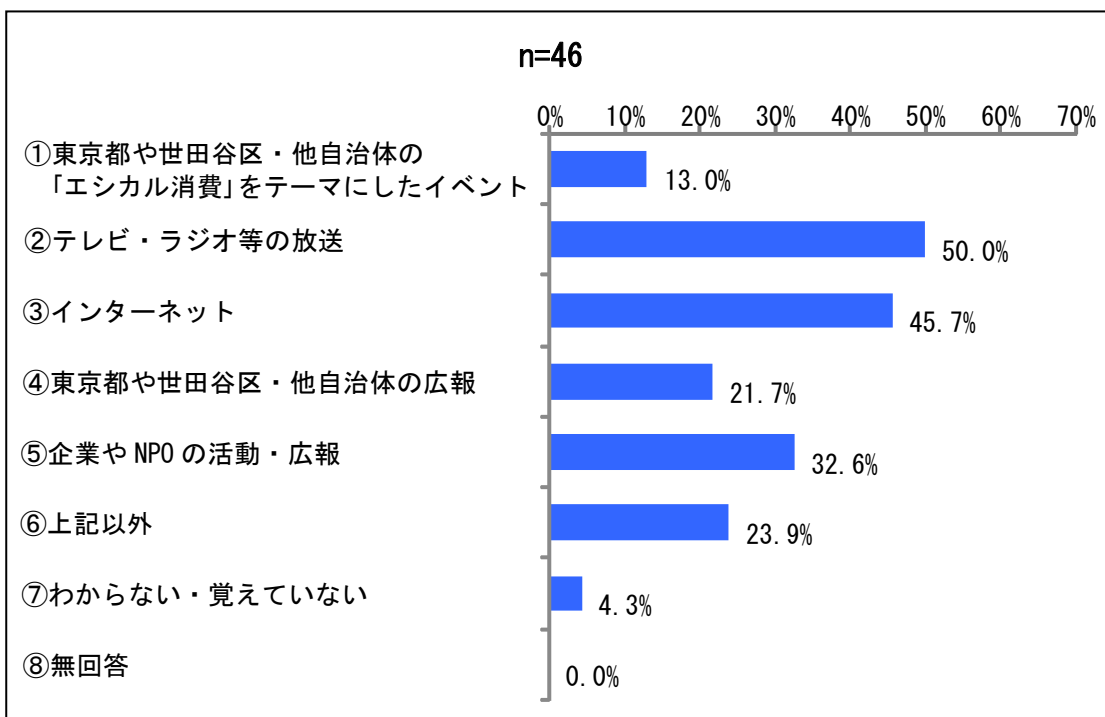
また、既に取り組んでいるエシカル行動については、「食べ残しを減らす(食品ロスの削減)」と「買い物には、マイバッグを持っていく」が8割近くで最も高く、次いで「マイボトルを持ち歩く」が5割であった。

※エシカルとは「倫理的」という意味で、エシカル消費とは「価格や便利さにとらわれず、人や社会、環境、地域に配慮した消費活動」のこと。

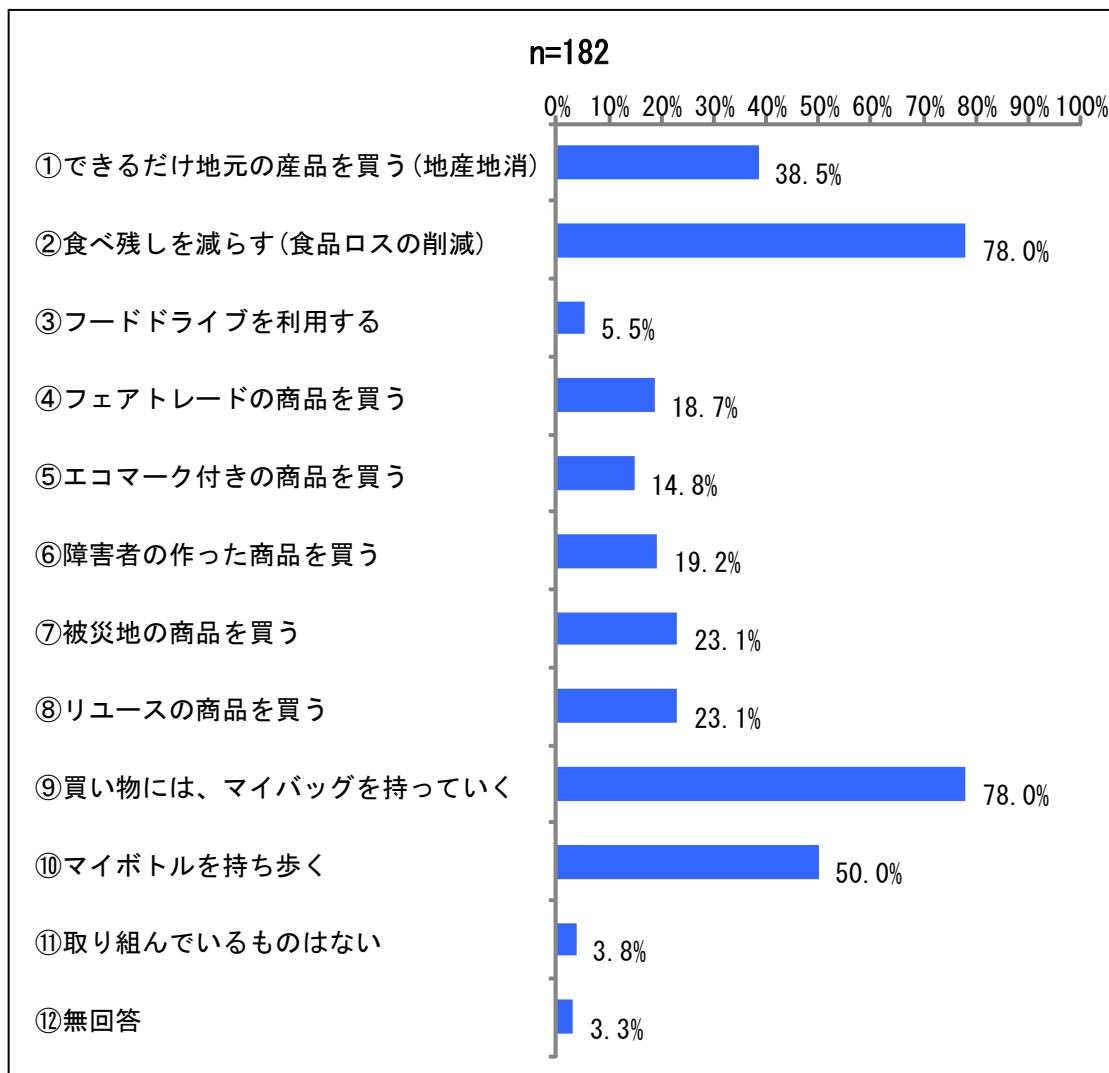
【エシカル消費の認知度】



【エシカル消費を何で知ったか。(複数回答)】 ※エシカル消費を知っていると回答した方への質問



【既に取り組んでいるエシカル行動(複数回答)】



◆第2回（2）「新型コロナウイルス感染症に関する区からの情報提供について」

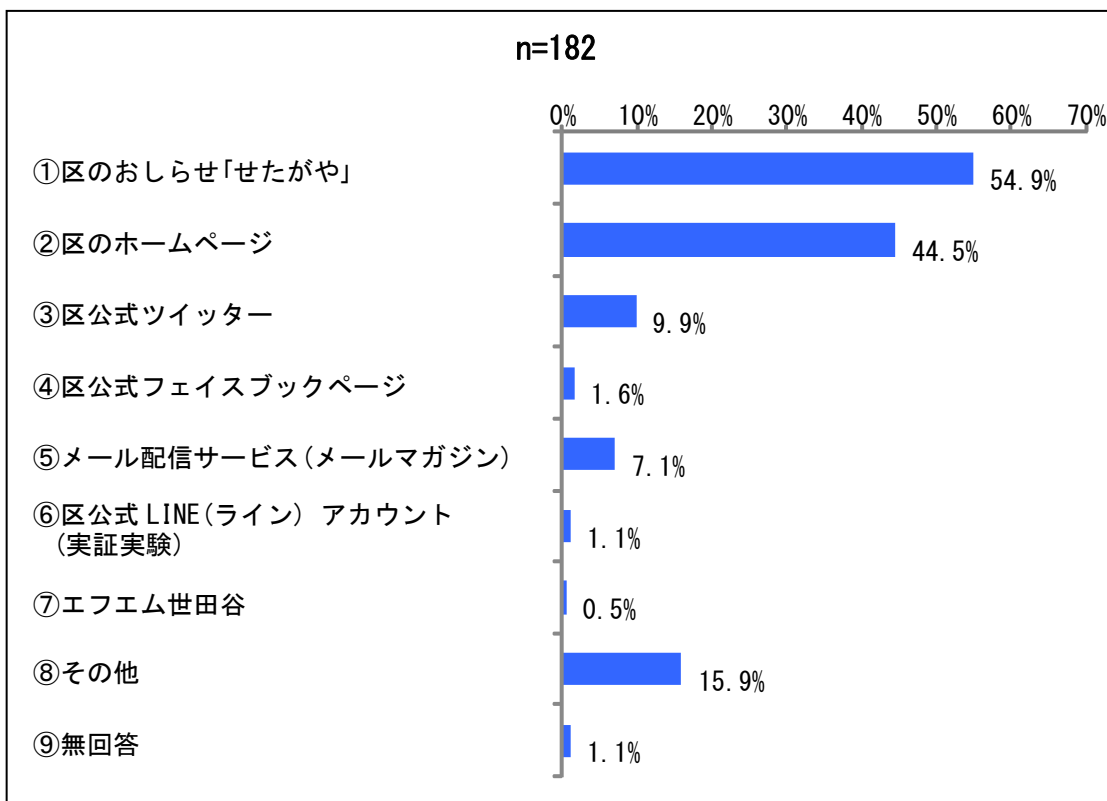
（政策経営部 広報広聴課）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する取り組みについて、今後の効果的な情報提供のあり方を検討していくために調査を実施した。

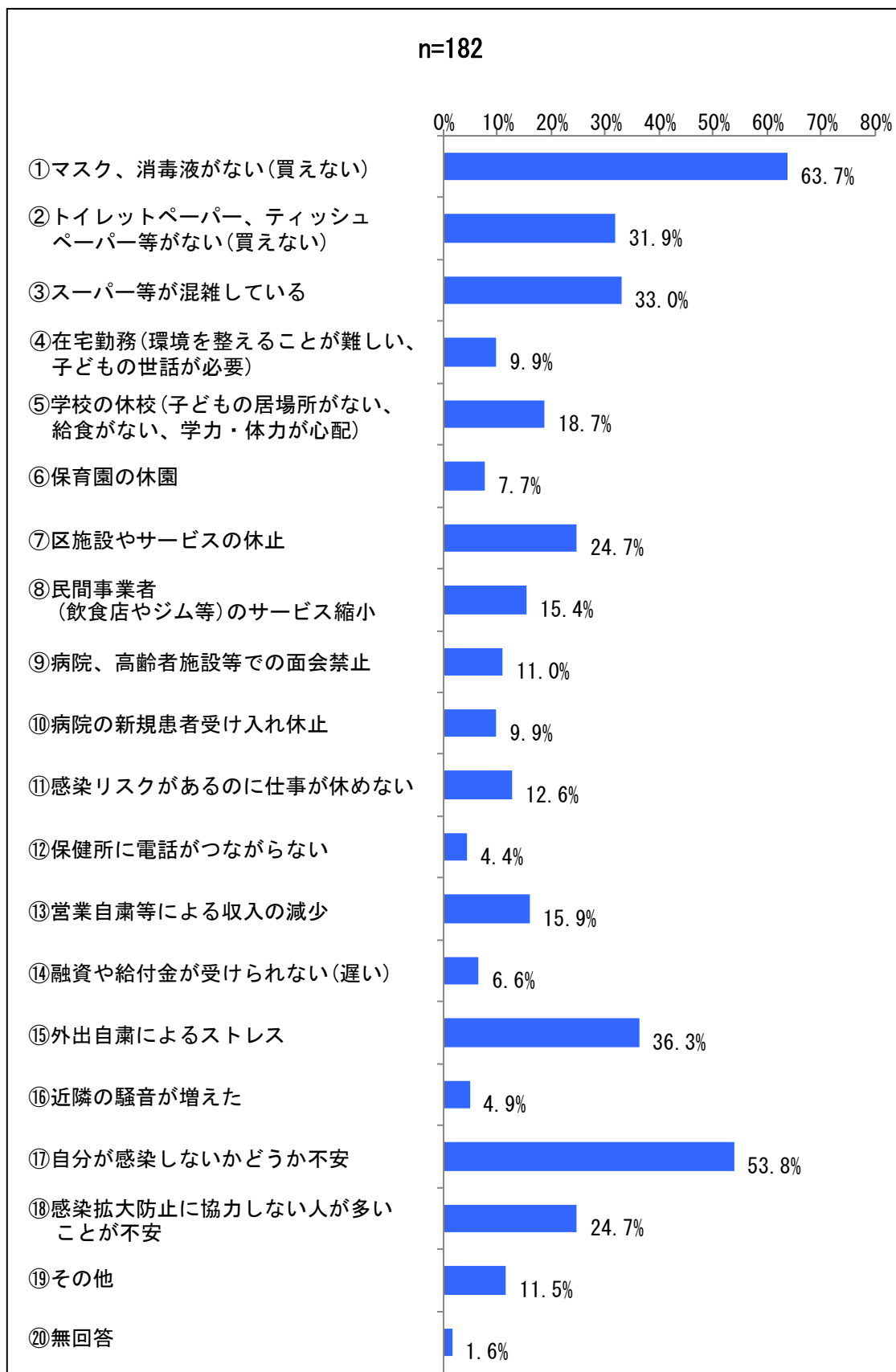
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関する取り組みについての情報をどこから入手したかは、「区のおしらせ「せたがや」」が5割半ば、次いで「区のホームページ」が4割半ばであった。

また国による「緊急事態宣言」発令以降、最も困ったことは、「マスク、消毒液がない(買えない)」が6割を超え最も高く、次いで「自分が感染しないかどうか不安」が5割を超え、「外出自粛によるストレス」が3割半ば、「スーパー等が混雑している」及び「トイレットペーパー、ティッシュペーパー等がない(買えない)」が3割を超えている。

【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関する取り組みについての情報をどこから入手したか。(複数回答)】



【国による「緊急事態宣言」発令以降、最も困ったことは何か。(複数回答)】



◆第2回(3)「第四次住宅整備方針の策定について」

(都市整備政策部 居住支援課)

「第四次住宅整備方針」の策定に向けた検討を進めており、その素案を取りまとめるにあたって調査を実施した。

区では、住宅整備方針の策定にあたり、「様々な方の住まいに関するニーズへの対応」、「次世代へ引き継ぐ質の高い住まいづくりの支援」、「安全・安心で愛着を持てるようなまちづくり」の3つを基本方針としており、このような方針を踏まえて、区が進めるべき取り組みについて、考えを聞いた。

【「様々な方の住まいに関するニーズへの対応」、「次世代へ引き継ぐ質の高い住まいづくりの支援」、「安全・安心で愛着を持てるようなまちづくり」の3つの基本方針を踏まえて、区が進めるべき取り組みは何か。(記述回答・抜粋)】

居住支援

○高齢者や障害者への見守りや支援を含めた福祉サービスの充実と共に地域のバリアフリー化。

空き家

○空き家問題について。長年にわたって居住者がいない「戸建て」が周辺に何軒もある。賃貸に出しているのであればまだしも、放置し庭木や塀が危険な状態になっている場合が多い。条例などでこういった状況を未然に防いでほしい。

災害

○想定外の災害がより多く発生するため再度インフラを見直して欲しい。雨なども50mm/時以上降ることが多くなるので排水の見直しをして欲しい。家は半地下なので床下浸水の経験があります。

みどり

○自然環境を残していただきたい。特に大きな樹木はお金で買えない貴重な財産だと思います。相続ができず手放される自然豊かな土地は区で買い取るなどしてはいかがでしょうか。道路の拡張などで大きな木を伐採する計画などを聞くと時代に逆行していると感じます。

道路

○交通事故が多発しているため、歩道の整備をしていただきたい。23区で一番住民が多く子どもも多い。住みやすさ=安全と私は考える。

その他

○色々なアプローチがあると思うが、安全安心のまちづくりの第一歩として、ぜひ「街角防犯カメラの設置」の推進をお願いしたい。今まさに住いとその周辺環境の維持・向上のために必要不可欠だと思う。

◆第3回（1）日常の買い物(食料品)について

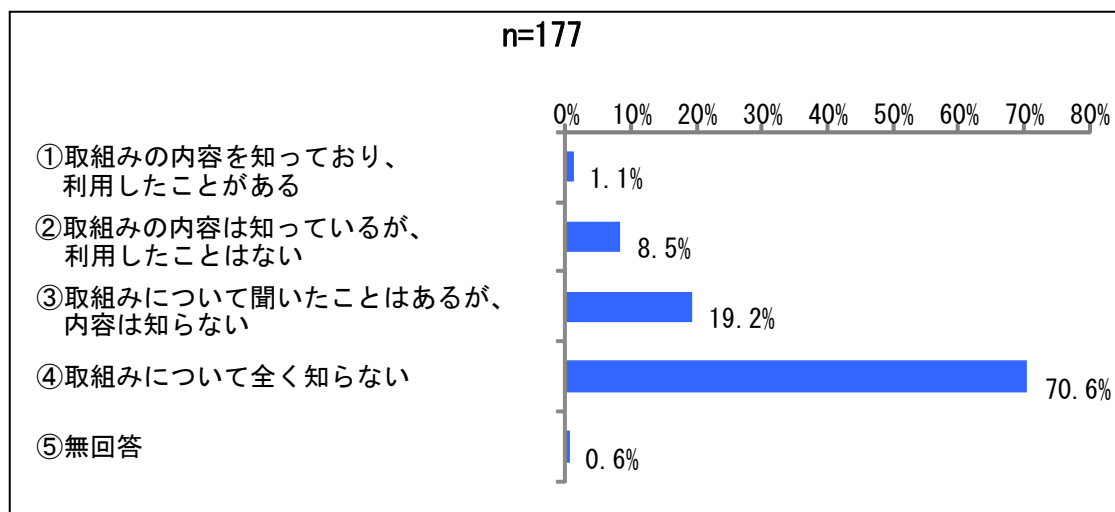
(経済産業部 産業連携交流推進課)

買い物の支援に向けた、買い物の環境を取り巻く地域特性と区民の消費動向の把握を行うために調査を実施した。

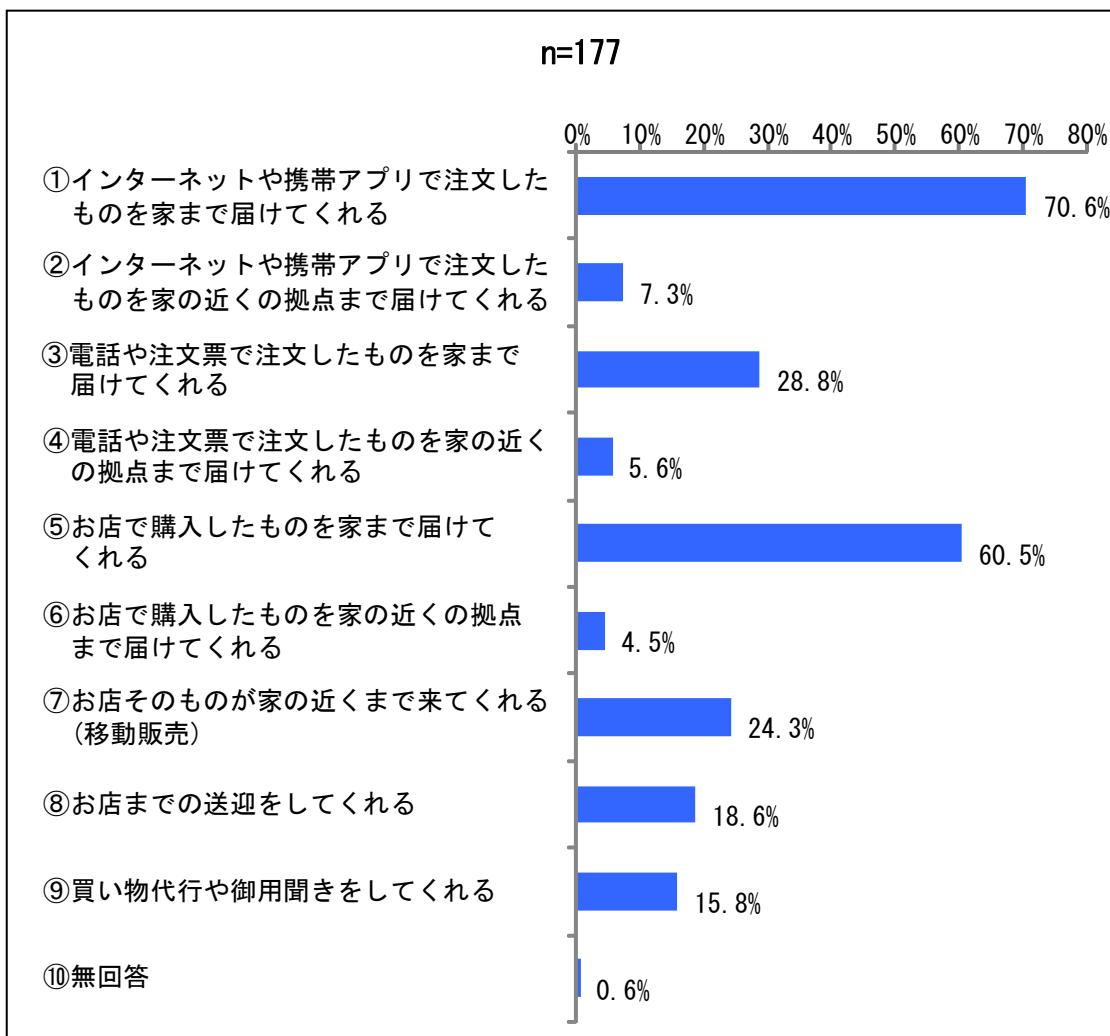
区内の様々な場所で買い物支援の取組み(移動販売や買い物ツアー等)が行われていることは、ほぼ7割が知らなかった。

また、どのようなサービスがあれば日常の買い物が便利になるか聞いたところ、「インターネットや携帯アプリで注文したものを家まで届けてくれる」がほぼ7割で最も高く、次いで「お店で購入したものを家まで届けてくれる」がほぼ6割、「電話や注文票で注文したものを家まで届けてくれる」が3割近くとなった。

【世田谷区では、様々な場所で買い物支援の取組み(移動販売や買い物ツアー等)が行われていることを知っているか。】



【どのようなサービスがあれば日常の買い物が便利になるか。(複数回答)】



◆第3回（2）「建築物の耐震化について」

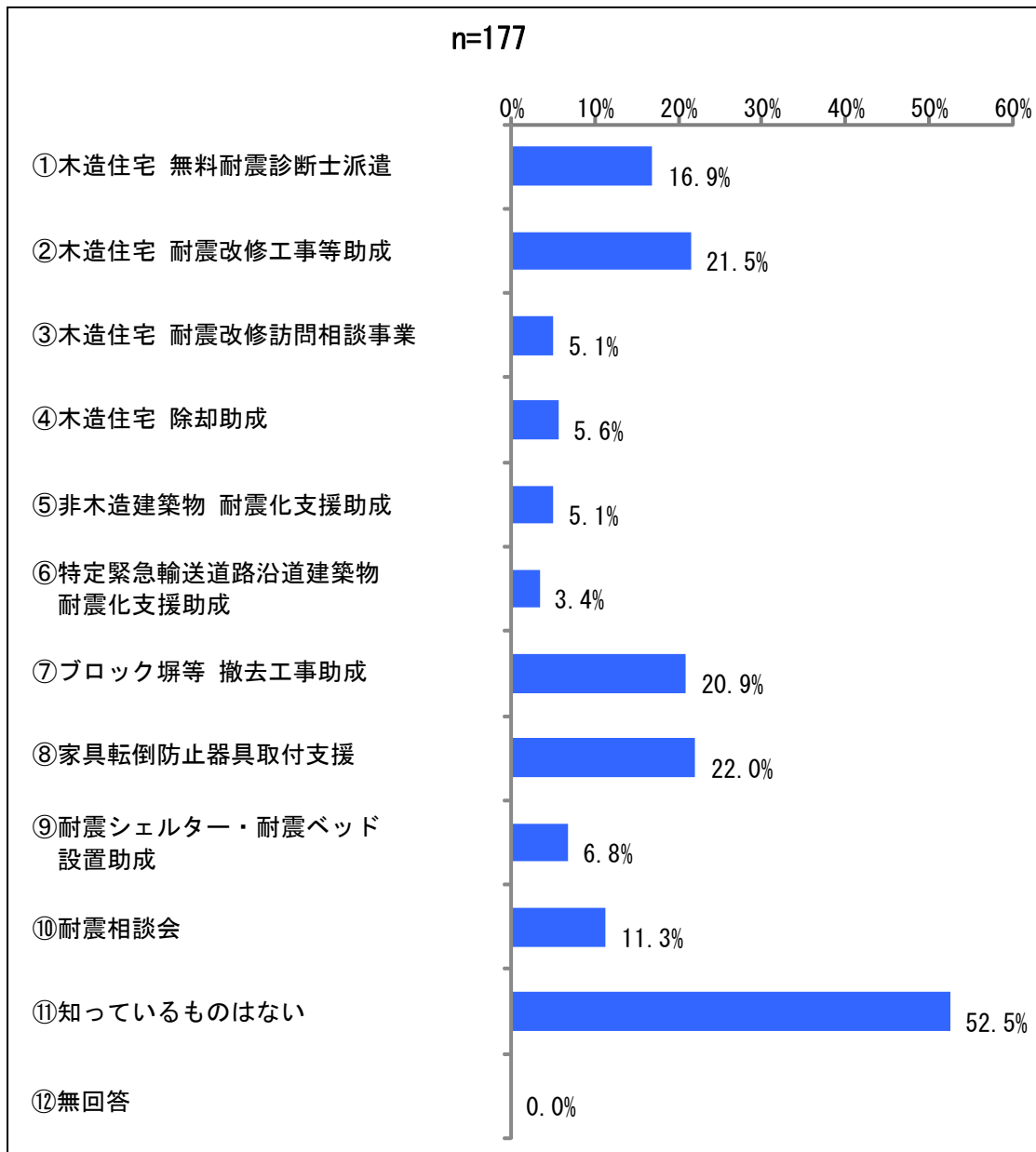
（防災街づくり担当部 防災街づくり課）

世田谷区耐震改修促進計画の改定に向け、耐震化支援制度の認知度を把握するとともに、今後の耐震化促進事業の参考とするために調査を実施した。

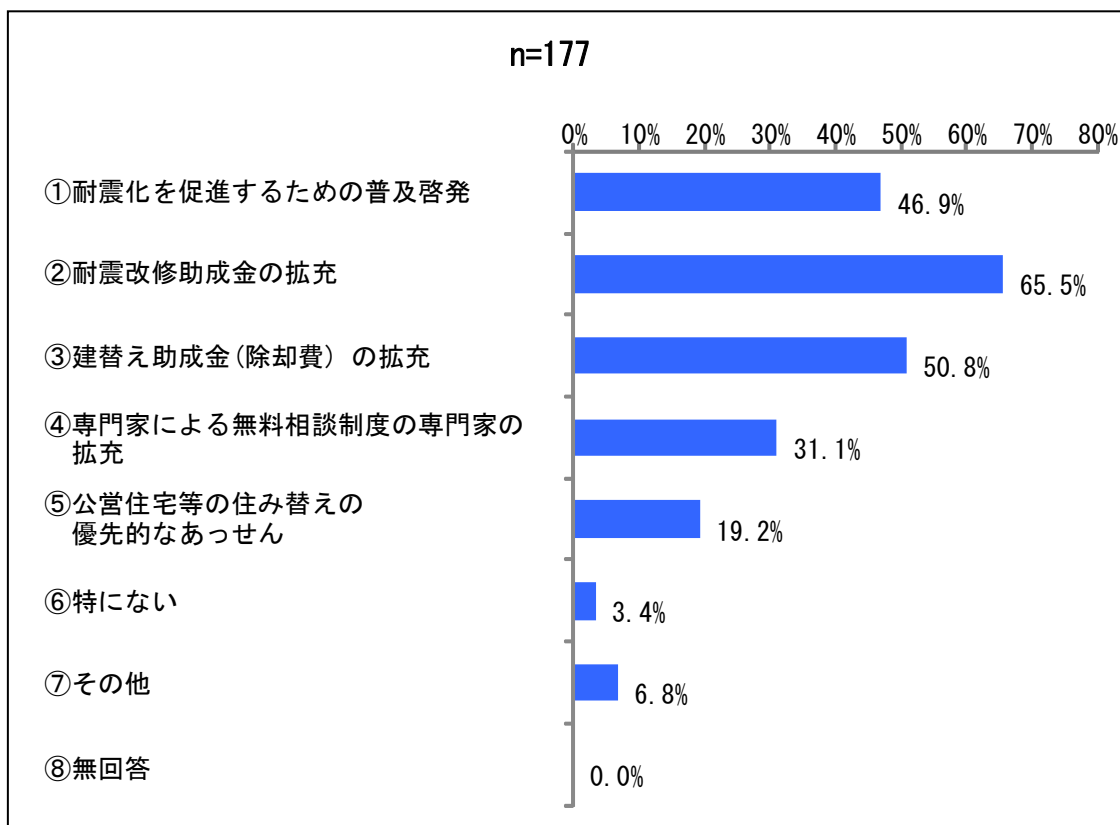
旧耐震基準の建築物を対象としている区の耐震化支援制度で知っているものは何か聞いたところ、「知っているものはない」が最も多く、5割を超えていた。

また、建築物の耐震化を進めていくために、行政が取り組むべきだと思うことは何か聞いたところ、「耐震改修助成金の充実」が6割半ばで最も高く、次いで、「建替え助成金(除却費)の拡充」がほぼ5割、「耐震化を促進するための普及啓発」が4割半ばであった。

【世田谷区の耐震化支援制度のうち、知っているものは何か。（複数回答）】



【建築物の耐震化を進めていくために、行政が取り組むべきだと思うことは何か。(複数回答)】



◆第4回（1）世田谷区の豪雨対策について

（土木部 豪雨対策・下水道整備課）

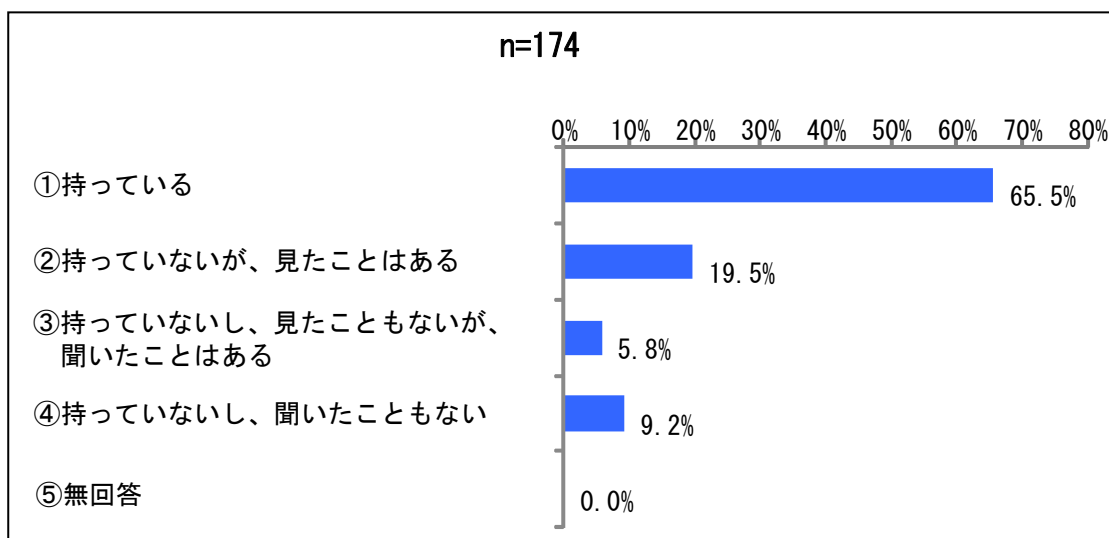
「世田谷区豪雨対策行動計画」の策定に向け、区民の豪雨対策に関する認知度や要望、水害に対する危機感・イメージについて把握し、今後の施策の検討資料とするために調査を実施した。

「世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ」の認知度等を聞いたところ、「持っている」が6割半ば、「持っていないが、見たことはある」が2割であった。

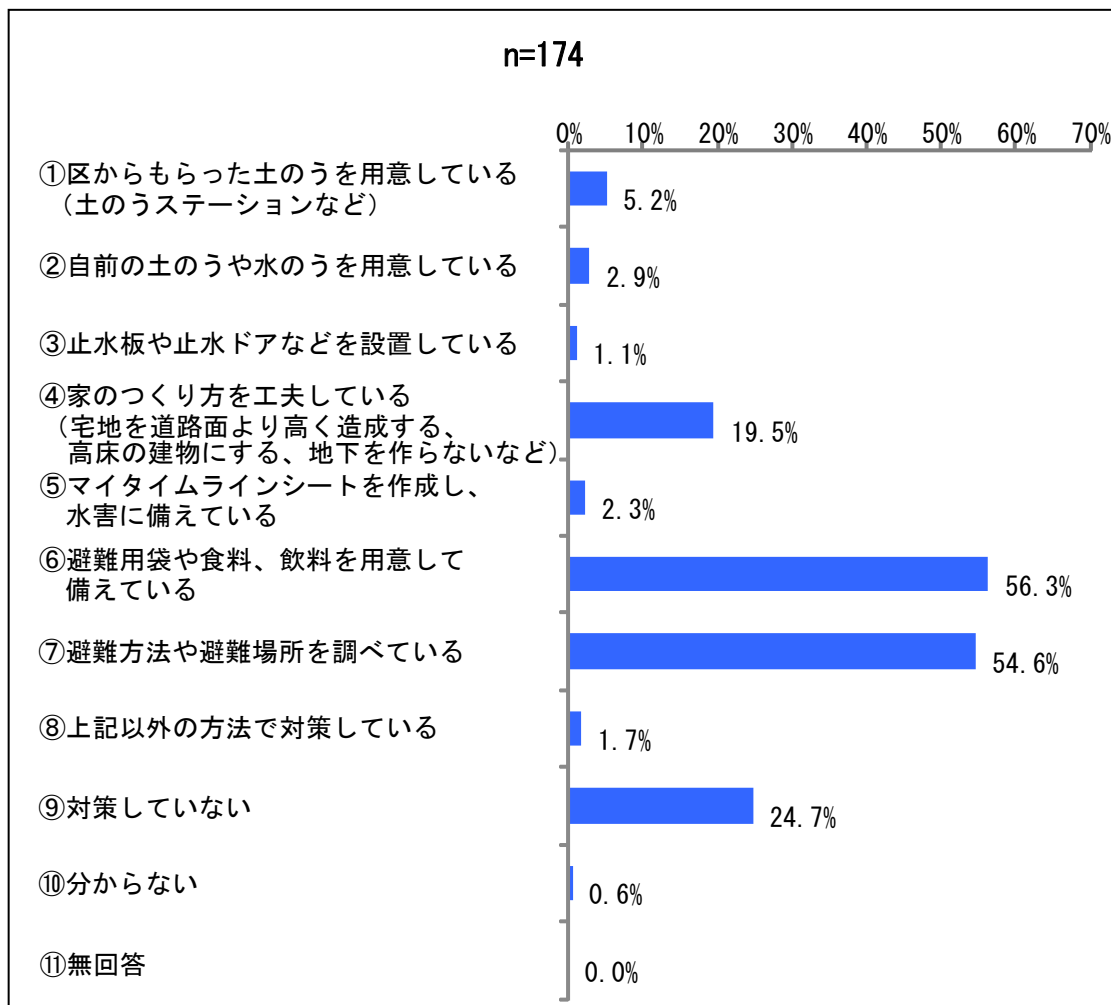
また、水害や浸水被害に備え、実際に家庭や自身で対策をしているか聞いたところ、「避難用袋や食料、飲料を用意して備えている」と「避難方法や避難場所を調べている」が5割半ばで最も高かった。一方、「対策していない」が2割半ばであった。

「グリーンインフラ」の認知度を聞いたところ、「知らない」が6割を超える結果となった。

【「世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ」の認知度】

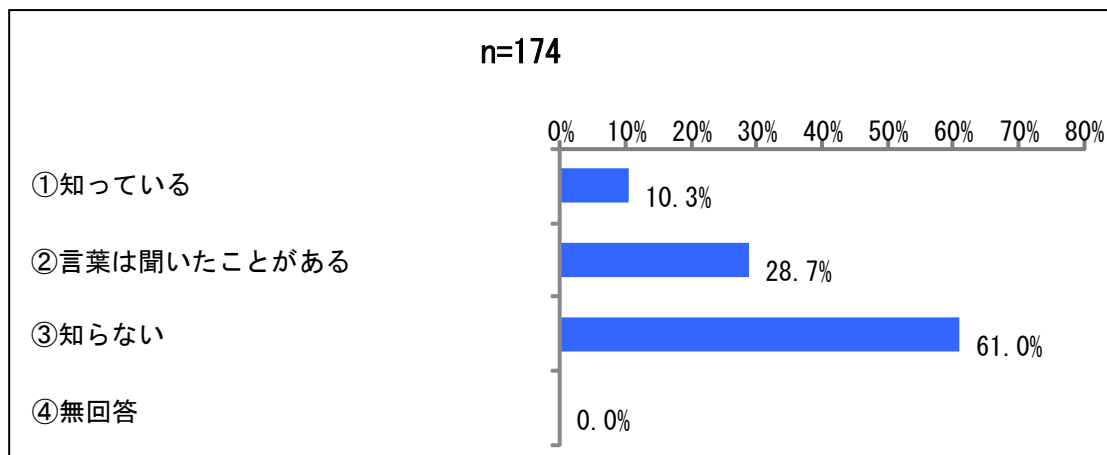


【水害や浸水被害に備え、実際に家庭や自身で対策をしているか。(複数回答)】



【「グリーンインフラ※」の認知度】

※ グリーンインフラとは、みどりやみずなどの自然の持つさまざまな機能を積極的に活用することで、雨水の貯留・浸透、流出抑制、水質浄化、利活用、地下水涵養（降雨などが、地中に浸透して地下水が供給されること）などを行う都市基盤（インフラ）や考え方のこと。



◆第4回（2）「ふるさと納税について」

（財政担当部 財政課）

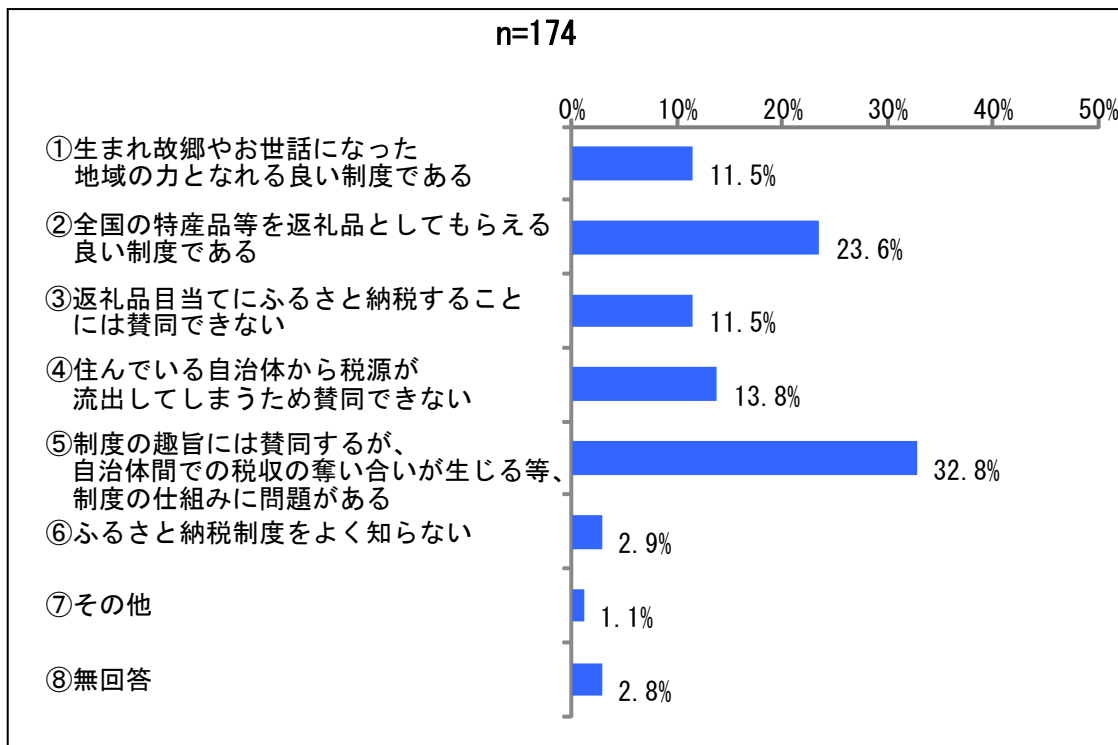
ふるさと納税の影響による住民税減収に対する取組みの今後の参考とするため、区政モニターアンケートを実施した。

ふるさと納税制度の印象を聞いたところ、「制度の趣旨には賛同するが、自治体間での税収の奪い合いが生じる等、制度の仕組みに問題がある」が3割を超え、「全国の特産品等を返礼品としてもらえる良い制度である」が2割を超える結果となった。

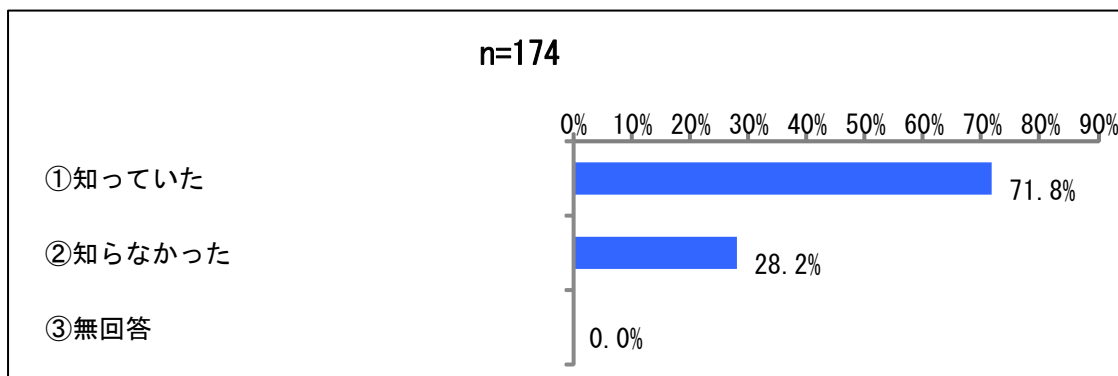
世田谷区民も世田谷区にふるさと納税ができ、税金の控除対象となることの認知度を聞いたところ、「知っていた」が7割を超えた一方、「知らなかった」が3割近くとなった。

また、区の現状や取組み等を踏まえ、今後ふるさと納税を行いたいと思うか聞いたところ、「他自治体及び世田谷区にかかわらずふるさと納税は控えたい」が4割近くと最も高かった。

【ふるさと納税制度についてどのような印象を持っているか。】



【世田谷区民も世田谷区にふるさと納税ができ、税金の控除対象となることの認知度】



【区の現状や取組み等を踏まえ、今後ふるさと納税を行いたいと思うか。】

